

木のパワーを探ろう！ まとめのアンケート



6年 組 名前： _____

問1 「木のパワーを探ろう！」の学習を通して、みなさんは様々な体験をしました。
それぞれの体験について、難しさと面白さに点数をつけてください（100点満点）。

	難しさ （「すごく難しい」が100点）	面白さ （「すごく面白い」が100点）
	↓	↓
(1) 木のトランプを使った木の持ちよう探しをする	() 点	() 点
(2) 木は光合成によって生長し、炭素をたくわえることを確認する	() 点	() 点
(3) 木の身体測定をして、測った木にたくわえられた炭素量を計算する	() 点	() 点
(4) 「木のパワーを探ろう」のスライドを見て、大坂さんのお話と合わせて、木のパワーについて考える	() 点	() 点
(5) これまで学んだ木のパワーを班で話しあい、発表する	() 点	() 点
(6) 地元の建築家・村上さんから様々な木を使った建物のお話をきく	() 点	() 点

問2 次の文章の中で正しいと思うものに○をつけましょう。いくつつけてもいいです。

- (1) 森には、自然にまかせて成長する「天然林」と、人が利用するために植えて育てる「人工林」がある【 】
- (2) 木は、光合成によって二酸化炭素を吸収しているが、他の生き物と同じように呼吸によって酸素を吸って二酸化炭素をはくことはしていない【 】
- (3) 若い木のほうが、年をとった木よりも、二酸化炭素を吸収して炭素をたくわえる量が多い【 】
- (4) 「人工林」は、植林や手入れをしてキチンと管理しないとよい木が育たず、荒れて洪水やがけ崩れなどの災害が起りやすくなる【 】
- (5) 木はきってもまた生えてくるから、どんな森でも、できるだけたくさん木をきって使うほうがいい【 】
- (6) 建物や木製品になった木は、新たに二酸化炭素を吸収することはないが、木が森に生えていたときにたくわえた炭素はそのままたくわえ続ける【 】
- (7) 同じ木でも、近くの地域の森の木を使う方が遠く海外の木を使うよりも輸送エネルギーが少ないことや地域の産業を守れるなどの良い面が多い【 】

「木のパワーを探ろう！」の授業全体を通して
わかったことや感想、質問

